

ひるまだより

2015.09 vol.65



OPひるま歯科 矯正歯科
OP HIRUMA DENTAL CLINIC

〒190-0012 立川市曙町1-36-1曙第3ビル2F TEL=042-526-3376
HP=http://www.hiruma.or.jp/ E-mail=clinic-contact@hiruma.or.jp

10月

日	月	火	水	木	金	土
					休	02 休
休	休	06	07	休	09	10
休	休	13	14	休	16	17
18	休	20	21	休	23	24
休	26	27	28	休	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
01	休	休	04	休	06	07
休	09	10	11	休	13	14
15	休	17	休	休	休	21
休	休	24	25	休	27	28
休	30					

患者さんインタビュー33 Sさん

長期間の治療でも不安は一切なし 見た目とかみ合わせを改善できた

インタビューの内容をダイジェスト版でお届けします。
全文はホームページに掲載していますのでご覧ください。

◆矯正治療を受けようと思っただけを教えてください。

中学生から高校生くらいの時、前歯全体が前のほうに出ていて笑うときに歯が唇にひっかかってニコッと笑うことができないのが気になり始めました。加えて、上あごと下あごをかみしめる時、前歯に合わせると奥歯がかみあわず、奥歯に合わせると前歯がかみあわないといった感じで、微妙な違和感を感じていました。見た目とかみ合わせ両方を良くしたいと思い、大学に入学してから矯正治療を受けることを決めました。

◆医院選びはどのようにしましたか。

当時立川市に住んでいたため、インターネットで「立川 矯正歯科」と検索して一番目に出てきたのがOPひるま歯科矯正歯科でした。カウンセリングを予約して晝間先生に歯の状態を診てもらったのですが、とてもくわしく説明してくだ

さいました。治療方針にも納得できたので治療を受けることに決めました。家の近くで信頼できる矯正歯科に出会うことができてラッキーだったと思います。

◆ワイヤーはいかがでしたか。

特に何事もなく、毎日ふつうにご飯を食べていて、平和でした(笑)。顎間ゴムを上下の歯にかけていましたが、食事の時にはずすので食べづらはなし、つらかったことはないですね。

◆アンカースクリューを装着されたのですか。

短期間で確実に前歯が下がるということで、治療の後半にアンカースクリューをすすめられ、装着してもらいました。費用が多少かかりましたが、装着の時の痛みもなかったですし、結果的に予定よりも早く治療が終わったので、つけてもらってよかったと思います。

◆まわりの方たちの反応はいかがでしたか。

大学では、女性ばかりの4人グループでよく一緒に行動していたのですが、4人のうち3人は矯正治療経験があり、治療のことを理解してもらえたのがすごくよかったですね。私よりも早く治療を始めた友達ばかりだったので、「治療が終わったらこんなにきれいになるんだ」と、先が見えるところもよかったです。

◆OPひるま歯科矯正歯科での治療はいかがでしたか。

長期にわたる治療なのに患者さんに不安を与えるようなところが一切ないというのには本当にすごいなあと思います。矯正治療は時間もお金もかかるのに加え、痛みも伴う治療なので、いつも安心して通院できるのはありがたいことですね。最初の希望だった見た目とかみ合わせを改善できたので治療をしてよかったと思っています。



Sさんの症状について解説します

●初診時の診断：「上突咬合 上突歯列 叢生歯列弓 下後退顎」

Sさんは、上下顎前歯が唇側に傾斜し、前歯部に軽度の叢生、前歯の重なりが深い傾向を認めました。臼歯関係は右側が Angle class I、左側が Angle class III でした。臼歯関係が非対称の原因は、左下5番が舌側に転位している事、下顎が軽度右側偏位している事が原因と思われました。治療方針は、前歯が突出している事でやや顎の位置が不安定な状態にあった事、前歯が唇側に傾斜した両突歯列であった事から上下左右4番を抜歯して治療を行い、前歯を最大限に後退させ口元の突出感を改善するためにアンカースクリューを使用する事としました。また、親知らずも萌出するスペースがなく、矯正治療終了後に7番のう蝕や歯周病の原因になったり、保定期間中にきれいになった歯並びを壊す原因となるので、矯正治療中に抜歯する方針としました。治療結果は、上下顎前歯の後退により口唇突出感や口唇閉鎖時の緊張感は改善し、口元の良好なバランスを得ることができました。臼歯関係は左右ともに Angle class I となりましたが、下顎骨が右側に偏位している影響もあり下顎歯列の正中は僅かに右側に偏位が残りました。

初診時



▲左側は上6番と下6番が噛み合わず、上顎よりも下顎が前方に位置している Angle class III。
▲原因のひとつ、左下5番の舌側転位。

動的治療終了後



Angle class I は上6番と下6番が噛み合う理想的な位置関係。左下5番の転位も改善され、Angle class III だった左側も、Angle class I となった。